

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	作業療法総合実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練治療実習室/702
担 当 教 員	三田 直人				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。</p> <p>【資格】 音楽健康指導士 準2級 地域音楽コーディネーター</p>				
<p>《授業科目における学習内容》 外部講師に来ていただき授業を展開していきます。CVA患者様を中心に、評価や姿勢・動作分析の方法を学び、ADLの改善との関連性を理解する。 収集した情報や評価より患者様の障害像を理解し、治療を計画、実施できるようになる。 嚥下・呼吸に必要な解剖学的知識を復習し、実際の吸引実技おこないます。事前の復習をしてください。</p>					
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>レポート、筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>配布資料</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>特にありません。</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>動きやすい服装で参加をお願いします。</p>					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	基本動作(姿勢・起居動作・歩行)に関する必要な基礎知識が列挙でき、各活動における筋作用など説明することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	基本動作と筋活動			
第2回	授業を通じての到達目標	基本動作(姿勢・起居動作・歩行)に関する必要な基礎知識が列挙でき、各活動における筋作用など説明することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	基本動作と筋活動			
第3回	授業を通じての到達目標	基本動作(姿勢・起居動作・歩行)に関する必要な基礎知識が列挙でき、各活動における筋作用など説明することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	基本動作と筋活動			
第4回	授業を通じての到達目標	基本動作(起居動作・姿勢)に対する作業療法評価・治療において必要な項目を列挙・説明・実施できる。	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	姿勢制御・姿勢・起居動作に対する作業療法			
第5回	授業を通じての到達目標	基本動作(起居動作・姿勢)に対する作業療法評価・治療において必要な項目を列挙・説明・実施できる。	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。	
	各コマにおける授業予定	姿勢制御・姿勢・起居動作に対する作業療法			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	病院における脳血管障害患者に対する作業療法評価・治療において必要な項目を列挙・説明・実施できる。	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害患者に対する作業療法		
第7回	授業を通じての到達目標	病院における脳血管障害患者に対する作業療法評価・治療において必要な項目を列挙・説明・実施できる。	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害患者に対する作業療法		
第8回	授業を通じての到達目標	脳血管障害患者における問題点に対しICFの分類に基づき統合と解釈をし、治療計画を立てることが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害患者に対する作業療法		
第9回	授業を通じての到達目標	脳血管障害患者における問題点に対しICFの分類に基づき統合と解釈をし、治療計画を立てることが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、作業療法評価学で使用した教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	脳血管障害患者に対する作業療法		
第10回	授業を通じての到達目標	呼吸・嚥下に必要な解剖学的構造・機能を列挙することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸・嚥下機能		
第11回	授業を通じての到達目標	呼吸・嚥下に必要な解剖学的構造・機能を列挙することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸・嚥下機能		
第12回	授業を通じての到達目標	呼吸・嚥下に必要な筋活動を列挙することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸・嚥下と筋活動		
第13回	授業を通じての到達目標	呼吸・嚥下に必要な筋活動を列挙することが出来る	配布資料	解剖、運動、生理学に関する教科書、資料を確認しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸・嚥下と筋活動		
第14回	授業を通じての到達目標	作業療法士が関わる吸引行為について説明でき、かつ実践できる	配布物資料	作業療法士が関わる吸引行為について予習する。
	各コマにおける授業予定	吸引の実技		
第15回	授業を通じての到達目標	作業療法士が関わる吸引行為について説明でき、かつ実践できる	配布物資料	作業療法士が関わる吸引行為について予習する。
	各コマにおける授業予定	吸引の実技		